

2010年度より、従来の試験課題のタイプに加え、次に示すサンプルのような課題が出題されます。

課題例(長文)

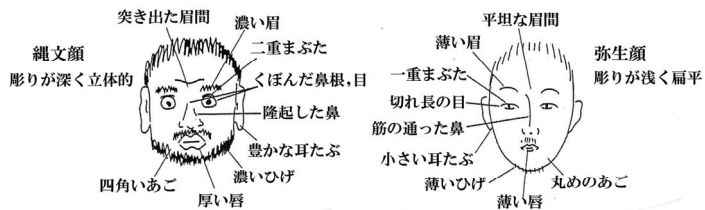
I 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

① 最近の人類学の研究によれば、日本人には二つのルーツがあるとされています。その一つは、数万年前に南方から直接日本列島に入ってきた人たちです。縄文時代にすでに日本列島にいた人たちという意味で「縄文人」という言い方をしています。南方から直接日本にきたので、一言でいうと「南方系の顔」をしています。

② もう一つのルーツは、数万年という歴史から見れば比較的最近、具体的にはいまから二千年数百年前に、シベリアも含めたいわば大陸の奥から南に下りてきて、朝鮮半島を通過して日本にきた人たちです。その人たちも最初はもちろん南方にいましたが、ある時期にずっと北の大陸の奥の方に行き、そこの寒い地域で長いこと過ごして、また南へ下りてきたのです。その人たちが日本に農耕文化を持ち込んで弥生時代になったので、「弥生人」と呼ばれます。厳密にいうと弥生時代にも先住民である縄文人がいたわけですから、弥生人という言い方は正しくないのですが、弥生期になって新たに日本に入ってきた人々を弥生人と呼んでいます。

③ この二つのルーツは、顔にかなりの違いがあります。縄文人は彫りが深く、立体的な顔をしています(図1)。ひげも濃く、顔全体が角張っています。一方、弥生人は北の寒い地域で長いこと過ごしていたので、いわば寒冷地に適応した顔をしています。なるべく顔から熱を逃がさないように、顔の表面積を狭くするためにこぼこのないのっぺりした顔になっています。弥生人の顔の皮膚が比較的厚いのも寒冷地だからです。特に、目の上のまぶたが厚く、一重まぶたが弥生人の顔の特徴です。また凍ってとれてしまわないように、耳たぶが小さくなっています。それから、ちょっと逆のような感じもしますが、ひげが薄く毛が少ないという特徴があります。毛が多いほうが温かくていいのではないかと思うかもしれませんが、毛があるとそこに霜などがついて凍ってしまいます。このようなのっぺりした弥生人の顔は、世界的には特別な顔です。それだけ寒冷地の環境が厳しかったということなのでしょう。西洋人の顔は一重まぶたで彫りが深いという意味では、どちらかと言えば縄文人に似ています。

図1 縄文顔と弥生顔



問1 本文の第一段落(①)、第二段落(②)、第三段落(③)の内容として適当なものはどれですか。 1

1. ①日本人がどこから来たか ②弥生人についての説明 ③縄文人についての説明
2. ①日本人がどこから来たか ②縄文人と弥生人についての説明 ③大陸の人々の顔の特徴
3. ①縄文人がどこから来たか ②弥生人がどこから来たか ③縄文人と弥生人の顔の比較
4. ①大陸の人々の顔の特徴 ②日本人がどこから来たか ③縄文人についての説明

問2 弥生時代に日本に住んでいた人々について、本文で述べていることと合っているものはどれですか。 2

1. 縄文人と弥生人の両方がいた。
2. 縄文人が弥生人になった。
3. 弥生人が縄文人になった。
4. 縄文人はいなくなり弥生人のみがあった。

問3 寒い地域に適応した顔の特徴に当てはまるものはどれですか。 3

1. 毛が少ない
2. 二重まぶた
3. 立体的
4. 顔の皮膚が薄い